

追加募集!

ものづくりで就職を

機械加工技術科

〈短期デュアルコース〉 ※訓練開始時 40 歳未満の方が対象です。



就職率

94.7%

平成27年度修了生の実績

● 機械加工技術科では、普通旋盤・フライス盤及びボール盤による加工の基礎、NC(数値制御)工作機械によるプログラミング・機械操作法を学びます。

- ①普通旋盤の各種加工法、操作、測定法(加工課題:技能検定 普通旋盤2 級)
- ②フライス盤の各種加工法、操作、測定法(加工課題:技能検定 フライス盤2 級)
- ③NC工作機械(NC旋盤、マシニングセンタ等)の基礎、プログラミング及び操作、加工
- ④約1ヶ月間の企業実習で現場作業を体験

受講対象者:ハローワークに求職申し込みをされている方。

※雇用保険、職業訓練受講給付金を受給しながら受講できます。(詳しくは、ハローワークにお問い合わせください。)



9月生追加募集!! (若干名)

訓練期間:

平成28年9月27日～平成29年3月16日

応募締切:9月16日(金)

職業訓練ガイダンス

各コース内容や受講申込の手順を説明します。

受講希望される方は必ず参加して下さい。

- ◎ 開催日 8月25日
9月1日、8日、15日
- ◎ 時間 13:30～16:30
(受付 13:15～)
- ◎ 会場 ポリテクセンター三重

◎選考日(筆記・面接) 8:45受付開始

9月20日(火)(9:00～12:00)

場所 ポリテクセンター三重

▼ 受講に関するご相談は、訓練受講者係又はハローワークの訓練相談コーナーへお越しください。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構三重支部
三重職業能力開発促進センター

ポリテクセンター三重

〒510-0943 三重県四日市市西日野4691

TEL. 059-320-2645

平成 26 年度 8 月修了

伊藤 祐也 さん

株式会社 木下エンジニアリング



1.機械加工技術科(短期デュアルコース)受講経緯について

私は前職では、合板の製造やフォークリフトの製造に関わっていましたが、退職を機に興味のあった『ものづくり』分野でスキルアップが図れる職業訓練をハローワークに紹介してもらい、職業訓練ガイダンス(施設見学会)を受け、機械加工技術科(短期デュアルコース)の訓練を受講しました。

2.訓練内容について

訓練内容は、始めに機械加工に関わる基礎知識を学び、測定・汎用旋盤加工・汎用フライス加工・NC旋盤加工・マシニングセンタ加工実習

まで4ヶ月間と企業実習1ヶ月間と企業実習後のフォローアップ訓練1ヶ月の合計6ヶ月間です。汎用機械の加工では技能検定2級課題を繰り返し作り、図面で要求される寸法精度や面の粗さに入るように注意を払いつつ、制限時間内に加工できるように技能をアップしました。

機械加工の実習を通じて、測定や機械加工の自信ができました。

3.企業実習について

短期デュアルコースの目玉である企業実習は、(株)木下エンジニアリングにお世話になりました。企業実習では社内のルールを教わり、加工物のバリ取りやマシニングセンタのプログラムの作り方などを先輩社員の方々に丁寧に教えてもらいました。企業実習において、礼儀正しい若い社員が多く、『ほうれんそう』が行き届き、人を育てる雰囲気に魅力を感じましたので、訓練修了後の就職を決めました。

4.今後の目標

現在、5面加工が出来るマシニングセンタを用い、量産部品の加工段取りや加工プログラムのデバッグから加工を先輩社員に教わりながら担当しています。今後は、トータルの加工コストを下げるためには何をすべきかを考え、量産部品以外の小ロット部品などの加工も任せてもらえるように頑張っていきたいと思っています。

株式会社 小林機械製作所

三重県四日市市八王子町 2435

弊社は金型の設計製作と専用工作機械の設計製作を行っている会社です。創業者のモットーである「いいものを創れ」を理念として製造業一筋に77年の歴史を経ています。いいものを創るためには、ひとつづくりが大切です。人材育成の基本はOJTですが、国家検定試験である技能検定試験の資格取得も推奨しています。高度熟練技能者が5名認定され、職業訓練指導員が41名(社員の約3分の1)、技能検定試験の合格者(技能士)は職種により重複がありますが合計161名在籍しています。日本が生きていくための極めて重要である高度なものづくりをしたいという方は、是非(株)小林機械製作所へお越しください。

取締役部長 黒田 泰弘



私は前職で大工をしていましたが、正社員としての再就職が難しく機械加工技術科を受講することにしました。受講内容は、機械加工技術と再就職に向けての支援、企業実習を受けることができました。機械加工の実習では、加工手順や理論などを学び、実践的な技能検定の課題を製作しました。毎日基本を反復練習することにより、技能と自信を身につけることができました。再就職支援では、履歴書の書き方、自己PRの仕方、面接の受け答え方法等を学びました。企業実習では、業務内容の確認や社員の方とコミュニケーションを図ることができ大変有意義なものになりました。また、就職に結びつけることができました。今はまだ学ぶことが多く大変ですが、充実した日々を過ごすことができます。

平成 25 年度 3 月修了生

辻 信也 さん